

# Fusyo Collaboration letter



5月20日 No.7 文責 廣田 秀俊

## 第1回学校評議員会 ～より良い学校をめざして～

5月15日(金)に開催された学校評議員会では、評議員の皆様からたくさんのご意見やアドバイスをいただきました。ご参加いただいたのは、前中津市教育長 栗田 英代様 附属小学校後援会副会長 宮永 尚様 別府大学学生部事務部長 村上 健様の3名の方です。

学校側から説明をさせていただいたのは次の3項目です。

- (1) 学校経営について  
学校経営方針 学年テーマ 年間行事予定
- (2) 授業改善と校内研究において
- (3) 学校評価について



上記3項目日についてそれぞれの評議員の方からお話をさせていただきました。

### (1)について

- ・学校の重点目標や重点的取組を意識化して制度化できていることが学校の様子から分かる
- ・本当の意味でのグローバルは寛容の心であり、調整力や自律という意識ができている
- ・本校がリーディングスクールとして地域へ貢献できるリーダーを育てている
- ・みんなの心が一つになる学年目標を掲げ、リーダーシップを意識した活動ができている
- ・リーダーだけでなくフォロワーを育てて行く活動が見られる 等



### (2)について

- ・昨年度教育実習の課題を取り入れ今年度の実践に取り入れている(「1年間の学校の流れ」の講義等)
- ・教職公務員としての職責を重視し、実際に活動する研修を取り入れていることに意義がある
- ・情報活用能力をICT技術だけと捉えず、一つのツールとして研修を重ねている
- ・外国語の評価方法の蓄積は、今後も共有して活用していただきたい
- ・ICT活用実践の冊子はどの学校にもありがたいもの。データ保存も検討して欲しい
- ・授業観察シートは、今後さらに絞り込みをしていく必要もあるのではないか。
- ・授業で「つけたい力は何なのか？」その力が授業の中で達成できたのかを検証していく 等



### (3)について

- ・大分大学教育学部の学生は教員になる率が高い。附属小学校の実践成果の一つである
- ・小さな時間の削減の積み重ねが働き方改革につながっている 等



たくさんのご指導をいただきました。今後の学校運営にいかしていきたいと思っております。